

特定非営利活動法人こどもコミュニティケア

2012 年度

年次報告書



2012 年（平成 24 年）7 月 1 日 ~ 2013 年（平成 25 年）6 月 30 日

2012年度 事業報告 (2012年7月1日～2013年6月30日)

保育事業

「ちっちゃんこども園にじいろ」「神戸市保育ママふたば」の運営

従事者的人数：(にじいろ&ふたば合算 6月末現在)

有給職員（保育士8人、保育者1人、看護師1人、事務専任1人、）登録ボランティア6人

保育事業全体 2010年（定員25人）のべ受益者数 109% (3611人 → 3939人)

◆認可外保育施設「ちっちゃんこども園にじいろ」の運営◆

実施日時：月～金曜日 7時～20時30分 (年間開園日241日)

実施場所：法人施設

利用者定員：9人 (2013年2月～ 一時保育枠2名増加 11人)

◆グループ型家庭的保育事業「神戸市保育ママふたば」の運営◆

実施日時：月～金曜日（土曜） 8時～18時 (年間開園日264日)

実施場所：法人施設

利用者定員：9人 (2013年4月～ 10人)

◇ 保育事業全体の受益者数の増加◇

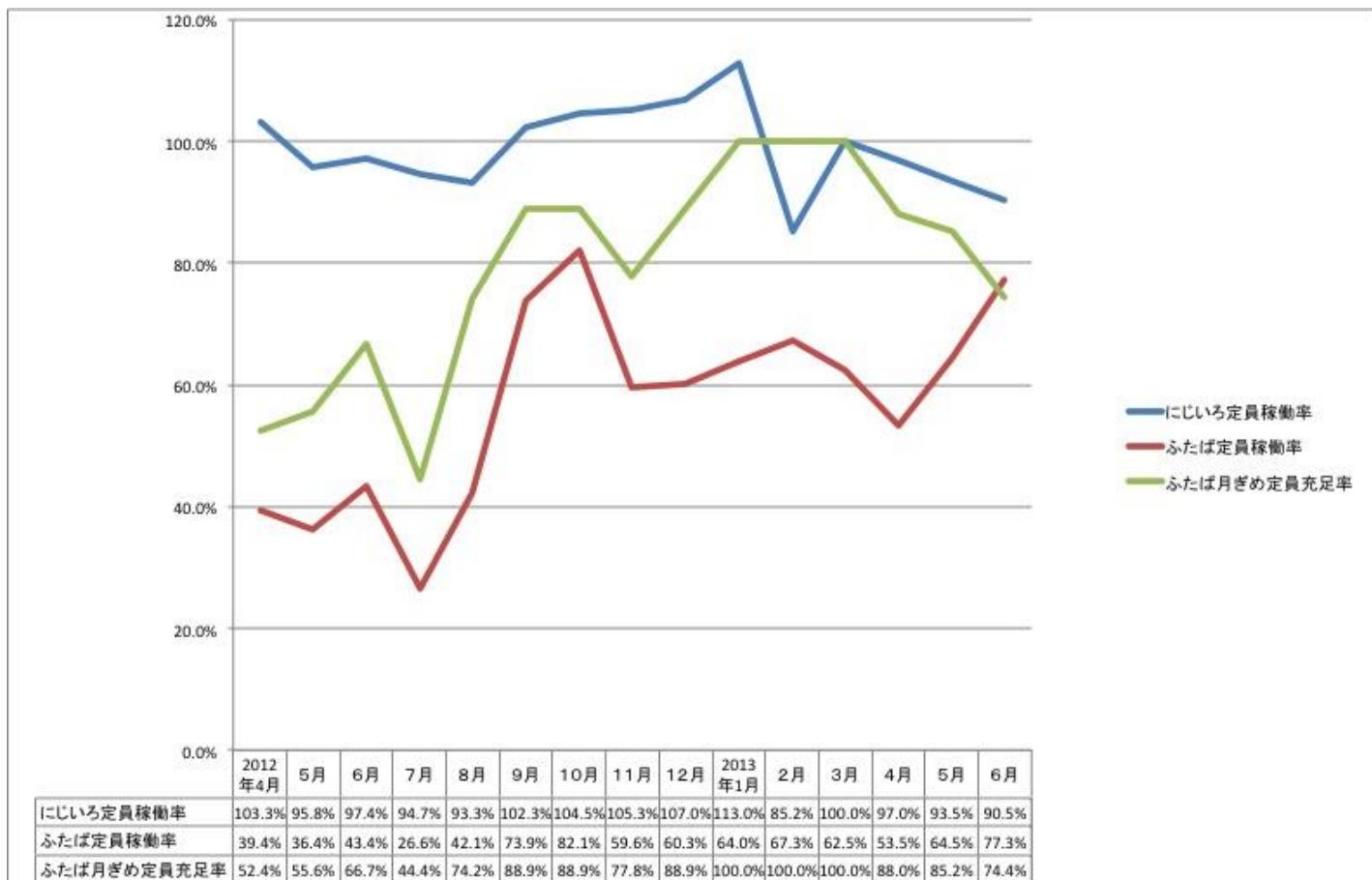
保育事業全体 2010年との比較 のべ受益者数109% (3611人 → 3939人)

「にじいろ」を定員25人で稼働していた時期である、2010年度の1年間と比較すると、現在の「にじいろ」「ふたば」の合計定員21名ではあるが、稼働率が上昇しているため、全体の受益者数は、増加しました。

同じハードを使って、実際の受益者数を増やせたことは、地域での認知度・貢献度の上昇の証と考えられます。

◇ 保育事業の経済基盤強化◇

「にじいろ」については、2009年度、2010年度と、連續の赤字の後、2011年度に厚生労働省の「事業所内保育施設への運営補助」にて黒字転換、本年度は「ふたば」の開設に伴い、この運営補助の要件からは外れたものの、64万円程度の赤字にとどめることができました。定員稼働率は、のべ利用者ベースでおおむね90%以上をキープし、午前と午後の利用者の入れ替わりを入れるために、100%を超える月も出ています。



2012年6月から 2013年7月	月ぎめ	一時	のべ利用者数 小計	要観察		日常的 医療ケア	医療観察 と与薬	手帳あり 日常介助 のみ
				2012年6月	2013年7月			
にじいろ(乳幼児)	1567	709	2276	151	68	0	0	46
にじいろ(学童)	0	120	120	10	0	0	0	92
ふたば(1, 2歳児)	1527	16	1543	0	99	0	0	161
にじいろ(乳幼児)割合	68.8%	31.2%	100.0%	6.6%	3.0%	0.0%	0.0%	2.0%
にじいろ(学童) 割合	0.0%	100.0%	100.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	76.7%
ふたば(1, 3歳児)割合	99.0%	1.0%	100.0%	0.0%	6.4%	0.0%	0.0%	10.4%

(再掲) (再掲) (再掲) (再掲)

経済基盤について、外部からのアドバイスを受けるため、社会貢献の一環として、自らのコンサルティングを無償提供している「ベイン＆カンパニー」さんに、「にじいろ」と「ふたば」の経営状況を診断、助言して頂きました。(2012年7月～9月) 当初は「原則として首都圏内のNPOに」とのことでしたが、「電話やメールでのやりとりでの範囲で

もお願いしたい」と熱意を伝えたところ、当法人の保育のミッションなどに深く理解を示してください、結果的にわざわざ現地視察にもおいでくださいました。

電話会議システムなども使ってのスピーディな診断とコンサルティング内容に、就いていくだけで必死でしたが、ハッキリとした数字、明快な内容、分かりやすい最終プレゼン資料などで、役員だけでなく、保育スタッフも経営という側面を知ることができ、日ごろの役割分担などを見直すことにつながっていきました。



BAIN & COMPANY

こどもコミュニティケア
事業診断および今後の収支改善施策の方向性

2012年9月19日

DRAFT

This information is confidential and was prepared by Bain & Company solely for the use of our client; it is not to be relied on by any 3rd party without Bain's prior written consent.

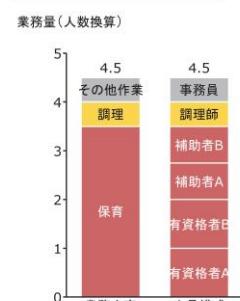
人件費の削減：フローレンスでは、9人の園児の業務を3.4人の人員でカバー。こどもの園は更に少ないスタッフ人数で対応

にじいろ（定員9人）

フローレンス
おうち保育園（定員9人）

乳幼児シャティナー保育所
こどもの園（定員15-20人）

イメージ



業務量 (人件換算)

業務量 (人件換算)

業務量 (人件換算)

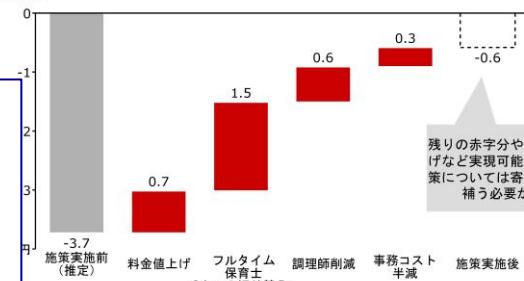
出所: インタビュー（こどもコミュニティケア、フローレンス、乳幼児シャティナー保育所）

This information is confidential and was prepared by Bain & Company solely for the use of our client; it is not to be relied on by any 3rd party without Bain's prior written consent.

にじいろ単体での赤字解消のためには、すべての施策の実現に加え、寄付金や補助金が必要

最終プレゼンテーション資料の一部

にじいろ純利益



残りの赤字分や、料金値上げなど実現可能性が低い施策については寄付金などで補う必要がある

今後の進め方 (1/2)

施策タイプ	施策	必要な具体的なアクション（案）
今後の方向性決定	施策実現可能性検討	<ul style="list-style-type: none"> 料金引き上げ・人件費削減の実現可能性を検討 -人件費に関しては運営体制上の課題や人材能力面の課題への対応により効率を向上させ、実際に現在のチーム構成を変えていくか、又は変えたいかどうか検討
	他施策の検討	<ul style="list-style-type: none"> 既に挙げられた施策以外に、考えられるものを列挙
	施策の課題洗い出し	<ul style="list-style-type: none"> 上記各施策の実行の際に想定される問題の洗い出し
既存ビジネスの改善	業務責任の定義	<ul style="list-style-type: none"> 各保育業務に関して、何人必要か検討した際の資料に基づき、実際に日常の業務分担を定義 -特に調理など、センシティブな業務に関しては慎重に検討 現在各業務を担当している人が、理想の人数を上回る場合は、そのギャップが生じている理由を検討し、対応 -業務が必要以上に複雑な場合は、単純化を図る（特に事務作業） -人材のケイバビリティ不足に起因する場合は、不足しているスキルを特定し、次項の「コーディングの充実」施策で検討
ボランティア活用	ボランティアを活用できる業務を明確にする	<ul style="list-style-type: none"> 実際にボランティアを受け入れて、手伝ってもらう体制を整える -ボランティアの管理プロセス（スケジュール、スーパーバイザー等）の検討 -ボランティアへの説明と教育・研修

This information is confidential and was prepared by Bain & Company solely for the use of our client; it is not to be relied on by any 3rd party without Bain's prior written consent.

TOK 120904-こどもコミュニティケア ver10 (2) 10

◇「夏の懇親会ランチ」の開催◇

実 施：2012年8月25日（土）

実 施 場 所：舞多聞まちづくり館

ご参加者：親子22組

職員：10人

こどもコミュニティケア通常総会の懇親ランチを、保育ご利用者様も含めた会としました。「ここちよい暮らしのお店くんぶ」さんのご協力をいただき、初めて流しそうめんにもチャレンジ。たいへん暑い晴天の日でしたが、バーベキューにスイカ割りと、親子で楽しんでいただけたひとときになりました。

卒園した年長児さんや小学生も集まって、お互いの成長に驚き合ったり、ご近所の会員さん同士が「初めてゆっくり話しました～」とおっしゃってくださったり、今までにいただいた表彰状や記念盾をかざしたりして、こどもコミュニティケアが重ねてきた年数を感じることもできました。



◇「おもちつき」の開催◇

実 施：2012年12月22日（土）

実 施 場 所：ちっちゃんこども園にじいろ&神戸市保育ママふたば

ご参加者：親子7組

職員：6人



2009年の「にじいろ」オープニング時と2010年の年末に開催した「おもちつき」。「ぜひ毎年」との保護者の声にこたえて、小雨の心配をしながら、新しくできた園庭で、湯気たっぷりにモチ米をふかし、木の臼と杵でぺったんぺったんとお餅をつきました。上手に鏡餅をつくった後は、できたてのお餅を、納豆や小豆あん、きなこにからめてお腹いっぱい食べました！大人には、大根おろしに醤油、七味という組み合わせも好評。

決め手は、バターをお餅にはさんで醤油をたらし、海苔でくるっと巻いたもの。何度も「おかわり」をして苦しくなってしまった子も…。お餅のように、粘り強く、のびのびと大きくなつてね！

◇「親子遠足」の開催◇

実 施：2013年3月30日（土）

実 施 場 所：学園南公園

ご参加者：親子 20組 職員：7人



2011年4月にようやくオープンした「学園南公園」。園から見える、舞多聞で一番大きな公園です。いつも遊び

慣れた公園へ、お父さんお母さんといっしょに出かけました。「遠足」と言っても、小さな1歳児さんもいるので、現地に集合。そこでグループに分かれて恒例の「朝の会」をしました。日ごろ、我が子のおしゃべりに出てくる「Aちゃん」や「Bくん」がどの子なのか、親御さん同士もお互いに確認。卒園した子どもたちも、卒園児グループに入って「にじいろ」の日にかえりました。

そのあとは、ミニ運動会。「玉入れ」やパン食い競争ならぬ「宝物取り競争」「しっぽとり」「オセロゲーム」などを親子で楽しみました。

広い広い芝生広場、今年は桜がほんの少しだけほころんでいました。来年はお花見も一緒にできるかもしれません。



◆園だより「にじいろだより」「ほいくだより」発行◆

実施日時：2010年4月～、隔月1回発行

従事者の人数：有給職員1～2名

発行数：毎月約40部、

配布先：在園児、CCC会員、関係者

「ちっちゃなこども園にじいろ」と「神戸市保育ママふたば」の合併号です。

保育での子ども達の様子や、イベント告知、給食の人気レシピなど、定番ですが、いつも楽しい記事が集まります。リコーのカラーレーザープリンタの寄贈を受けてからは、このお便りもカラー刷りになり、ご寄付をいただいた方にも、お礼状に、その時のバッケナンバーを同封するようにしています。（印刷在庫がなく、お送りできないこともあります）

◆毎日のショート・ミーティング◆

実施日時：にじいろ・ふたばが保育を行っている日 午後1時～1時30分

従事者の人数：その時間帯に出勤している保育スタッフ5～8名

昨年度から引き続き、毎日、「にじいろ」「ふたば」での合同ショート・ミーティングを行っています。

子どもたちの体調やケガ、保護者様からのコメント、午前中の保育の様子、ヒヤリハット事例、成長したエピソード、個別保育計画などを共有します。

話し合いでは、ゴミ捨ての方法や担当から、お子さんひとりずつの保育計画、情報共有、実施の評価なども行います。話し合いだけでなく、スタッフが外部の研修を受けて学んだことをシェアしたり、日ごろ感じていることを話したりすることもあります。医療的な配慮の基礎や、プロの保育者としての知識やスキルについての小さな学習会等も行っています。

子育ち支援事業

- 親子のアートクラス「色あそび」の開催（共催）

★2013度はお休み中

実施日時：第2・第4土曜日 午前の部 10:15～11:15
午後の部 13:30～14:30

実施場所：法人施設・学園都市集会所

従事者の人数：講師1名

受益対象者：2～6歳の子どもと保護者、および小学生

【講師】石塚小久良さん（CCC 正会員）
財）認定マスター・アートワークセラピスト
2003-2004 イギリス Emerson College 人智学基礎コース修了
2004-2005 スイス Goetheanum アートコース修了

講師の石塚さんが、さらなる研鑽のために海外留学中のため、2013年4月から約1年、休止しています。

子どもの健全育成に関わる調査研究提言事業

2012年度は、特記すべき事業実施なし

ネットワーク活動として、「全国小規模保育協議会」に賛助団体として参加し、第2回総会(2013年6月29日)に参加しました。

全国小規模保育協議会 <http://syokibohoiku.or.jp>

「保育ママ」を始め、主に首都圏の認可外保育施設や小規模保育施設の運営者が集まって、日ごろの運営や保育の情報交換の他、「子ども子育て会議」などへの提言をまとめています。

当日は、第3会見集会も合わせて開催され、当法人の行う共生保育を簡単に紹介すると、何人もの参加者さんから「どのように実施しているのか」「補助金はないのか」「など多くの質問を受け、関心の高さと当法人の先進性を感じた半日でした。

子育て支援事業

◆ライアーコンサート＆リンゴろうそくの開催◆

実施日時：2011年11月26日（土）

16:15～17:00 リンゴろうそく 17:15～コンサート

実施場所：法人施設

従事者の人数：演奏者1名、職員6名（準備も含めて）

ご参加者：

リンゴろうそく：子ども16人

コンサート：親子11組



2009年から続いているライアーコンサート、今年も開催いたしました。昨年からは、シュタイナ一教育の施設では、クリスマスの前の時期（アドベント）におなじみのリンゴろうそく。今年は3回目の開催で、在園の子どもたちばかりでなく、卒園した子どもたちも集まり、お部屋が狭く見えるほどでした！

リンゴろうそくはアドベントガーデンとも呼ばれ、もみの木の枝をらせん状に並べ、その間を子どもがひとりでリンゴに指したろうそくを持って進みます。まん中からろうそくに火を移し、もみの木のスパイラルに置いて、戻ってきます。

冬至は「太陽が生まれかわるとき」として、昔から日本でもさまざまな行事が行われてきました。保育でも、ゆず湯の足湯につかったり、給食でカボチャを食べたりしています。一方で、少し大きくなった子どもたちが、自分ひとりで、厳粛な雰囲気の中、しっかりとスパイラルの中をひとりで歩んでいく「リンゴろうそく」も、大切な行事にしていきたいと思います。

うずまき（スパイラル）は、多くの文化で古来、生命の象徴とされてきました。外から中へと入っていくスパイラルは「誕生」を意味しており、リンゴろうそくでは、子どもたちひとりひとりがこれから的人生で、光をもたらす行いをするように、という願いをこめています。

コンサートは、毎年、舞子にお住まいの高谷順子さんに演奏をお願いしています。オリジナルの曲も含めて、ステキな歌声と共にライアーガがいつもの保育室に響きます。いつも保育室にぺたんと座って、ごろんと横になって、リラックスして、冬の訪れを楽しみました。

コミュニティ・スペースの運営事業

現在、こどもコミュニティケアの正会員に限り（※）、法人施設1F 保育室や2F 多目的室を、空いているときにご利用いただいております。

子どもコミュニティケアの主催・共催となっている定期的なクラスについては、年間利用予定をご提出いただき、変更のあるときのみメール・電話でやりとりをしています。不定期での利用の場合は、その都度「施設使用願い申込書」をご提出いただいております。

※主催者が正会員、または主催グループの一員で同席する場合に限る

利用責任者	利用室名	頻度	利用者数
看護の勉強会 正会員 末永 美紀子	保育室・和室	年3回 土曜日・日曜日	4~8人
アートセラピー 正会員 石塚 小久良	2F 多目的室	月1~2回 土曜日 午後	2~4人

＜ご参考＞保育以外のスペース活用

保育以外の事業に、園舎を活用しています

利用責任者	利用室名	頻度	利用者数
【アトリエ・シャッフェン共催】 親子のアートクラス 「色あそび」	正会員 石塚 小久良	子どもキッチン（水道） 高・低年齢児室	月1回 土曜日 午前・午後 2010年4月から月2回に 親子5組程度 ×2クラス

組織基盤強化

◆プロボノによる支援 サービスグラント「事業計画立案」◆

2012年3月まで3年間にわたって、PanasonicよりNPOサポートファンドにて、組織基盤強化の助成をいただき、さらにそれらを発展させる形で、特定非営利活動法人サービスグラントによる「プロジェクト型助成」を受けました。サポートチームは、Panasonicの社員さん5人、忙しい本業の合間に縫って、休日を使って精力的に活動くださいました。

今回のプロジェクトは「事業計画立案」。2011年の「ルーツ会議」「戦略会議」を踏まえ、保育スタッフ、事務スタッフ、役員を含め、「これから私たちが向かう先」について考えたり話したりする機会となりました。

日々の保育や事務の仕事は、ともすると「同じことの繰り返し」のように見えたり「普通の保育」に見えたりすることがあります。しかし、プロボノさんたちにインタビューを受け、説明したり、気持ちを話したりする中で、私たちが目指している「共生保育」の高み、先進性、難しさ、今のチームの良さなどを再確認することができました。

最終報告の内容は、キャリアパス構築や寄付開拓等多岐にわたり、充実した中期計画の提案となりました。Panasonicサポートチームの最終プレゼンテーション22枚のパワーポイント力作の一部です。



【NPO法人こどもコミュニティケア 事業計画立案プロジェクト】

事業計画立案サービスグラント 最終報告

パナソニック サポートチーム

2013年5月25日

do it pro bono.

3. 各自の成長の見える化

現スタッフの定着化と能力アップ、またボランティアや新規スタッフの採用においては、こどもコミュニティケアで働くことでのメリットの訴求も必要だと考えます。文献や他組織での例を参考にしながら提案いたします。

対象者	項目	メリット
就職希望者	コミュニティケアでの勤務意欲	勤務条件、収入面に加え、キャリア形成ができる事が検討条件に加わる。
新規スタッフ	組織内での成長イメージ	何が求められているか、何を身に付けるのが良いのが明確になる。
既存スタッフ	組織内での成長イメージ 新規メンバーへの教育・指導 ・アドバイス	何が求められているか、何を身に付けるのが良いのか明確になる。 後輩メンバーへのアドバイスをキャリアパスに基づいて実施できる。
運営	必要な人材の把握 スタッフのスキルアップ提案	経験者採用時のキャリア判断が行える。 外部の教育機関活用が的確に行える。
利用者 (保護者)	コミュニティケアに寄せる 信頼感	※直接的では無いと考えられるが スタッフの行動・態度から安心・信頼感を持っていただける



6. 各取組みの連携イメージ

■研修制度とステップアップフローの一例（パナソニックの制度）



◆ボランティア・プログラムづくり◆

当法人の「共生保育」には、2004年オープン当初から多くの方が共感してくださり、学生さんや主婦のかたを中心に多くの方がボランティア活動をしてくださっています。

こうした方々の思いをつなぎ、長く、いきいきと活動していただけたこと、充実した活動をしていただけたために、団体側がもっと準備をしておく必要があると感じ始めました。しかし、「ボランティアをしたい人」と団体をつないでくれるコーディネーション機能を持つ機関はあっても、ボランティアさんに来てもらいたい団体側が準備するのを応援してくれる、という支援を見つけることができず、これまで、行き当たりばったり的な対応になってしまっていました。

こうした悩みをNPO同士の懇親会でおしゃべりしていたところ、中間支援NPOのCS神戸のスタッフさんから「アドバイザー派遣を使ってつくってみませんか」とお誘いを受けました。2012年秋から2013年3月末までという駆け足ではありましたが、計4回、大阪ボランティア協会のかたにおいて頂き、いろいろなアイディアやアドバイスをいただきながら、ボランティアさん・スタッフ共通のプロフィールカードを作ったり、オリエンテーション資料の概要を決めたり、お仕事内容をスタッフと書き出してタイムスケジュールに組んだりと具体的な作業も進めました。2013年度も引き続き、プログラム作りに取り組みます。

CS神戸 飛田さん 大阪ボランティア協会 永井さんと



ボランティアさんにしてもらって感謝！のこと、
ボランティアさんにお願いしたいこと、
等をスタッフみんなで書き出しました。

資金開拓

◆ ドナーデータベースの構築◆

2012 年度に助成が決まった「未来のゆめ・まちプロジェクト」(阪急阪神ホールディングス) の助成金を使い、Salesforce の NPO 貢献プログラムを使って、団体の支援者、寄付者、関係者のデータベースづくりに取り組みました。

Salesforce のデータベースは企業で広く利用されているクラウドサービスで、同社の社会貢献の一環として、審査を受けた NPO にはプログラムが無償提供されています。このデータベースならば、基本的にソフト上のランニングコストが無料になることと、カスタマイズの広さから、先進的な NPO が利用を始めています。今回は、専門性も高いため、基金を利用して、(株) ファンドレックスの NPO 向け支援を受けました。法人施設と東京での打合せを重ね、今まで当法人に関わってくださった方、今関わってくださっている方々とそのご支援を登録し、これまで代表理事の属人的資産となっていた「人脈」を法人で共有する第 1 歩を踏みました。

また、ファンドレックスさんのご訪問支援の際には、同じ神戸の NPO でファンドレイジングに取り組む中間支援 NPO の IT 担当者も同席され、1 つの機会を複数の団体で共有する取り組みも行いました。

◆第 1 回キャンペーン型クラウド・ファンドレイジングへの挑戦◆

ドナーデータベースの構築を進める中で、これまでお世話になっている寄付サイト「ギブワン」が第 1 回目のファンドレイジング・キャンペーン「E チャレンジ」をするという告知を受け、さっそく登録をしました。

ちょうどファンドレックスさんの支援中でもあったので、ドナーデータベースを実際のファンドレイジングに活用してみる、というタイミングも良く、今後につながる取り組みとなりました。代表理事と事務スタッフが 2 か月、かかりきりになるくらいの仕事量で頑張り抜き、結果、1 か月で 165,000 円のご寄付をいただきました。

このご寄付は、前述した「ボランティア・プログラムづくり」の一部として活用しています。

また、この取り組みをきっかけに「継続寄付」の実績ができました。

オンライン寄付サイト「Give One」の当法人のページ

<http://www.giveone.net>



The screenshot shows the Give One website interface. At the top, there are buttons for '寄付カード' and 'マイページ'. Below that is a banner with the text 'オンライン寄付サイト' and 'Invest in the Future'. The main navigation menu includes '寄付をする', 'パーフェクト寄付ガイド', '利用方法', 'Give One とは', and 'サポート'.

The campaign page for 'E チャレンジ' is displayed. It features a large image of a child playing on a playground. The page includes a summary of the campaign: '最低寄付受付金額は1,000円です。' (Minimum donation amount is 1,000 yen), '寄付回数: 一回ごと' (Donation frequency: Once), '今回の寄付額: 165,000円' (This donation amount: 165,000 yen), and '「6ヶ月ごと」「毎年」の場合の次回希望決済月' (Next payment month for 'Every 6 months' or 'Every year' cases).

On the right, there are sections for '継続寄付' (Recurring donation) and '寄付カード' (Donation card). The '継続寄付' section shows a summary: '寄付回数: 1回ごと', '今回の寄付額: 165,000円', and '「6ヶ月ごと」「毎年」の場合の次回希望決済月'.

Below that is a '寄付登録' (Donation registration) form. It includes fields for '団体名' (Organization name: '特定非営利活動法人こどもコミュニケーション'), '募集期間' (Fundraising period: '2012/11/27 ~'), and '活動地域' (Activity area: '東海・近畿').

The '本年のオンラインでの寄付額' (Annual online donation amount) is listed as '38,000円'.

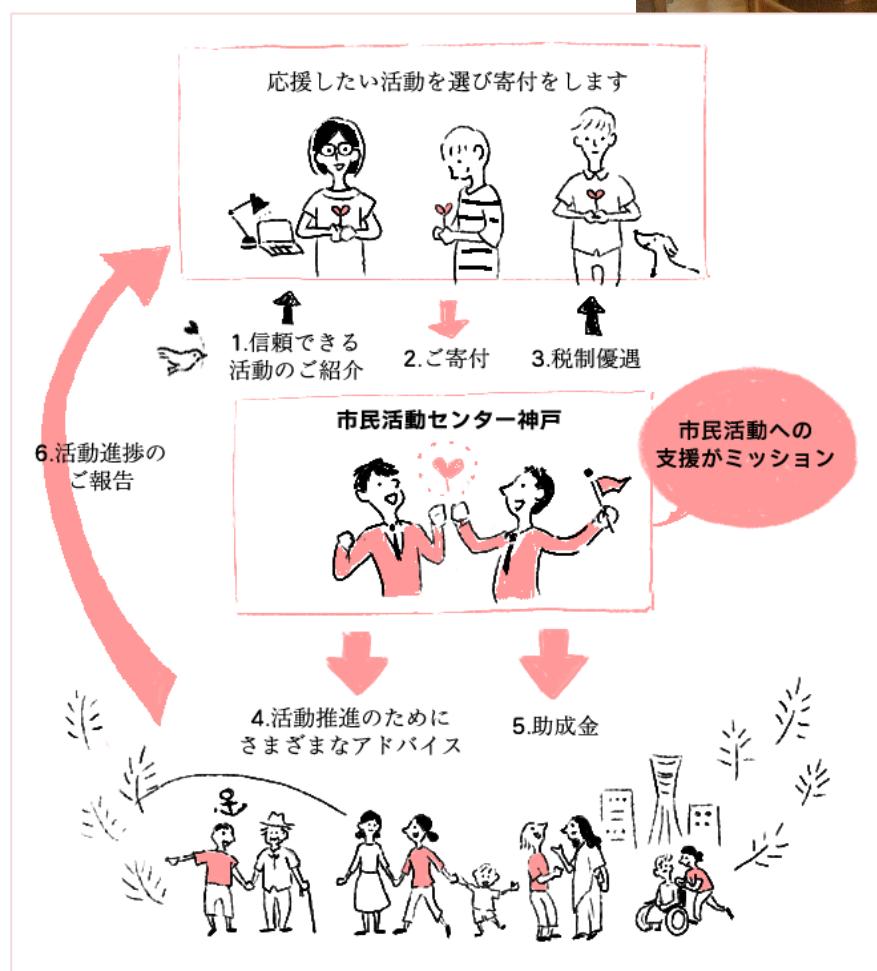
The 'プロジェクト担当者' (Project manager) section shows a profile for '末永 美紀子' (Yasunaga Miki), with a note that she is a medical social worker and a member of the '特定非営利活動法人こどもコミュニケーション'.

The 'プロジェクトタイプ' (Project type) section includes a note that the project is a '継続寄付' (Recurring donation) and a '寄付カード' (Donation card).

◆ 共感寄付の取り組み◆

こどもコミュニティケアが設立前からお世話になっている中間支援 NPO「市民活動センター神戸（KEC）」さんの新しい取り組みで、認定 NPO 法人を活かし、複数の NPO が協働して寄付を集めようという取り組みです。第 1 期の 1 団体として参加し、2013 年 6 月末時点で、341,000 円のご寄付を頂戴しております。第 1 期は 10 月までの取り組みですが、今後も継続していきたいと思います。この寄付計画にあたっては、共感寄付ご担当者さんに、現場において頂き、理事と保育スタッフ合同のミーティングも行いました。

KEC 共感寄付担当社さんおふたりと
理事、スタッフの合同ミーティング



↑ 共感寄付の仕組み

WEB サイト <http://kobekec.net/kyokan/> より



講演

◆ ひょうごコミュニティ・ビジネスフォーラム 分科会◆

～ これからの将来を開く起業家たち ～

2012年9月15日（土）代表理事 末永美紀子が分科会で「コミュニティ・ビジネス」「起業」という観点からお話をいたしました。

◆ 大阪府社会福祉協議会「保健師・看護師研修（保育・児童福祉施設等）」◆

2012年12月4日（火）代表理事 末永美紀子が「共生保育について」講演をいたしました。

表彰

◆ ナース・オブ・ザ・イヤー「インディペンデント・ナース賞」◆

2012年12月に、当法人代表理事の末永美紀子が「ナース・オブ・ザ・イヤー」にノミネートされました。WEB上で一般からの投票によって選ばれるしくみで、隔年で開催されています。 (<http://www.noty.jp>)

大賞は、東日本大震災の被災地支援を行っている鳴海幸さん、当法人の末永は、「新たな可能性を感じさせる看護師」に与えられる「インディペンデント・ナース賞」を受賞いたしました。みなさまの投票とあたたかいメッセージに、再度、感謝申しあげます。

2013.1.19
日本看護協会ビルにて
受賞者・関係者の皆様と



ネットでの投票や、イベントの呼びかけをしてくださったみなさま、励ましやお祝いをくださったみなさま、ありがとうございました！

東京での授賞式では、「医療的ケアが必要な子どもたちと家族の現状や支援の必要性」や「看護師が長く働き続けることや、地域で活動することで広がる可能性」についてスピーチをいたしました。多くの方に、地域での取り組みを知っていただくことができる機会となりました！

スタッフやボランティアさん、保護者さん、ご寄付、会員のみなさんや、助言くださるみなさんと、一緒に歩んできた10年です。みなさんと一緒にいたいたい賞と思っています！

これまで、本当にありがとうございました！ そして、これからの10年も、どうぞよろしくお願いいいたします。お祝いにメッセージやお花もたくさんいただきました！ 事務室の隣、にじいろの玄関で、みんなで楽しみました♪ （末永美紀子）



◆ 神戸ロータリークラブ「社会奉仕団体への感謝状」贈呈◆

地元神戸ロータリークラブさんから、感謝状と、20万円相当の物品助成をいただきました。

同会の例会（ポートピアホテル）にて団体の活動について紹介するプレゼンテーションと、会報での紹介をいただきました。

助成物品：鼻口腔吸引器・ジェット式吸入器

ボールプール用ボール 700 個

ミキサー食用ミルサー



プレゼンテーションの例会には、スタッフ 2 名と代表理事が

出席しました。ホテルの宴会場で、ちょっと緊張！

それから 15 年の月日が流れました。今であれば、NPO 法人しゃらくが提供する介護付き添い旅行サービスのノウハウがある。今であれば、難病や医療的ケアが必要な子どもたちの夢をかなえるお手伝いができる。私はすぐ多くの子どもたちやその親に話を聞きに行きました。すると、15 年前から何も変わらず、ハンデのある子どもたちは夢への挑戦はおろか、スタートラインにすら立てていないのが現状でした。また、当事者やその家族と私たちの住む社会との間に、見えない「厚いガラス」の壁が存在し、彼らは社会から孤立している、市民が市民を見捨てる社会になっていることに気づきました。そして、誰もが公平、平等に夢や目標へのスタートラインに立てる、挑戦できる社会づくりが必要だと感じました。

「市民が市民を助け合う社会」へ

構想を立ち上げ、その実現可能性を測るために、脳が溶けてなくなる病気ニーマンピック病に苦しむ七海ちゃんの、家族と一緒に大自然の中歩きたいという夢の実

現を、モニタリング事業として実施しました。そこには多くの方からご支援をいただき、夢をかなえることができました。本格始動のためには、運営資金の確保に加え情報発信や寄付を集めるサイトの構築など、乗り越えなければならぬ多くの壁がありましたが、御神戸デジタル・ラボ様等のご協力により、2013 年 4 月 1 日に「まさゆめ」Project は本格始動することができました。

現在、3 名のチャレンジャー（難病や医療的ケアが必要な子どもたち）が夢の実現に向けて挑戦しています。

その挑戦には、兵庫県内の 60 名を超える学生たちが、街頭募金や事務局サポートといった形で熱心に協力してくれています。また、次のチャレンジャー 3 名も、スタートラインに立つ瞬間を待っています。

これからより多くの市民・企業・労働組合・学生を巻き込んでながら、この「まさゆめ」Project を通じて、市民が市民を助け合う社会づくりを実現したいと考えております。

「医療的ケアや配慮を必要とする子どもたちとの共生保育の10年」

特定非営利活動法人こどもコミュニケーション代表理事 末永美紀子さん



私たちこどもコミュニケーションは、2004 年から神戸市西区（現在は垂水区）で、医療的なケアや配慮が必要な子どもたち、障がいや慢性的の病気を持つ子どもたちと、健常上の不安のない子どもたちが共に育つ「共生保育」を行っています。

感染症の流行を防ぐためと、ひとりひとりに目が行き届くように、全体で 25 人までの少人数保育を行ってきました。保育の規模が小さいため、認可保育園となることはできません。認可外ゆえに身軽な立場を活かし、開

設当初から学童保育や一時保育など地域からのニーズにフレキシブルに対応できる体制をとっています。

障がいのあるお子さんの保育や教育は、この 10 年でもかなり広がってきましたが、最初の「高い」一時保育の場所は多くありません。また、特別支援学校や学校の子どもたちの学童保育はさらに数が少なく、家族おもに母親が保育を一手に担っていることが多いです。なかでも「医療的ケア」のできる保育園はさらに稀です。当園のように、健常児といたちを必要以上に分離することなく、共に過ごす「統合保育」「共生保育」を実践して行う園は、全国でも 5 指に満たないと言われています。

当園は「子どもは子ども社会に参加する権利がある」

の理念のもと、障がいや病気の有無や種類による区別やクラス分けをせず、ひとりひとりに合った園庭活動と個別ケアを日々、提供・追求しています。

現在は、年間でのべ約 3000 人の子どもたちが通っています。

このうち、約 15 % が何らかの配慮や個別ケアが必要な子どもたちです。0 歳から学童が共に過ごす「大家族」のような空間では、比べたり競ったりする必要がありません。毎日散歩に出かけ、保育室の中では、すぐ隣のキッチンから、食事やおやつのいい香りや音がしていて、ひとりひとり興味に応じてじっくりと創造的な遊びに取り組みます。保育者と一緒に掃除や料理をしたり、泥や水と遊んだり、長めの昼寝をしたり、個別の課題に取り

組んだり、とあたたか家庭のような雰囲気を大事にしています。

乳幼児期は障がいや病気の有無や程度がハッキリせず「様子を見ましょう」と医師から数年間言われて続けていたり、心理的な受容が難しかったり、不安を抱えたままの保護者も少なくありません。「障がいや遅れや病気があってもなくても、地域の子どもたちは当たり前に一緒に育つ」場は、こうした親子が地域の一員として当たり前に居られる場であり、将来の共生社会の礎となるので

す。

当園は、ひとりひとりの保護者が高い意識と学ぶ意欲を持ち、懸念に毎日のケアにあたっています。認可された施設であればつくる特別加算もない中で、この度のご支援は本当にありがとうございます。心より御礼申しあげます。

今後も役員・スタッフ一同、精進を重ね、地域のボランティアのみなさま、企業のみなさまと共に「誰もが暮らしやすいまち」づくりの一端を担って参りたいと思います。どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。

会員企業の 社是 社訓 企業理念

日本製麻株

中本広太郎会員



◆企業理念

「産業は社会の福祉をはかれをモットーとする。社員以下全従業員は法律を遵守し、人権、国家、社会のために奉仕することを心掛ける。」

これが社は、たゆまげ前進しなければならぬ。

また人間は幸福を求めるために働くがねばならぬ。

毎日の生活は神の加護によるものであることを自覚して、感謝の念を忘れないこと。

如何にせばより良いものをより安く供給することが出来かに努力すること。

一朝有事に備えて、日頃蓄積に心掛けよう。

窓口となるとも手伝うなる勿れ。」

◆創業者が掲げた企業理念との背景

産業は社会全体の利益を考えなければならないとい

うことを心掛ける。

「(公共の福祉)は、現在「一元的内閣制説」など

多数の説があり、社会全体の利益という説は支持

されていないが、弊社創業者の時代はそうであった

と思われます)

社長以下全従業員は法律や道徳・習慣を守り、人類、

国家、社会のために奉仕する。

わが社は、怠けることなく前進し、人間は幸福を求めるために働くなければならない。

毎日の生活は神に守り受けられているものであり、常に感謝の気持ちを忘れてはならない。

どうすればより良いものを安く売ることが出来るか、常に努力すること。

経営目標としては、不調の事態に備え、日頃から蓄えておくこと。

大きなものに從うよりは、たとえ小さな集団であっても其となるほうがよいということ...

株式会員



三井東京UFJ銀行

大道 会員

◆経営ビジョン

私たちの使命

いかる時代にあっても決して屈らすことなく、常に世界から信頼され存在できるること。

時代の潮流をとらえ、直感にお客さまと向かい合

い、その期待を超えるクオリティで応え続けること。

長期的視点で、お客様とおつきあいを深め、持続的な成長と実現すること。

そして、日本と世界の健全な発展を支える責任を胸に、社会の確かな健となること。

それが、私たちの使命です。

編集後記 会報・雑誌委員長 木下 勝文

今が、本年度最終のKOBE Rotarianです。石井委員、北井委員の退会で、残された少人数での校正作業ではありましたが、無事一年終えることが出来ました。ご寄稿いただいた皆様、委員の皆様、事務局の皆様、本当にありがとうございました。

表紙には、幹事会員の多数あるヨーロッパ風景の写真から、パリ広場を進んでいただきました。他にもいろいろありますので、今後が楽しみです。

来年度も、私が担当委員長を継続いたしますが、小山副委員長とのタッグで、心温まる会報誌を提供していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

取材・記事・メディア出演

◆ 阪急阪神ホールディングス「TOKK(トック)」「社内報」に掲載◆

2012年に「未来のゆめ・まちプロジェクト」にて助成を受けることになり、団体や取り組みについて、阪急沿線の駅で配布されるフリーペーパー「TOKK(トック)」に掲載してくださいました。

病気や障がいを抱えた子ども達とその家族を支える保育園を運営

特定非営利活動法人 こどもコミュニティケア Series 16

「共生保育」という理想を実現するために

代表の末永美紀子さんはかつて看護師として小児医療の専門病院に勤務されていました。そこで、慢性疾患や障がいを抱える子ども達を預かってくれる場所がどこにもないという現状を目の当たりにしたことから「こども「コミュニティケア」を立ち上げようと決心したそうです。

「ちっちゃんこども園にじいろ」のサポート

医療機関連携

「ちっちゃんこども園にじいろ」は、日常的な医療的ケアが必要な子ども達を抱える「ちっちゃんこども園にじいろ」のサポートを行っています。医療技術の発達により、病院ではなく自宅で医療的ケア（たんの吸引や酸素投与など）を受けながら過ごすことでも増えています。でも、そんな子ども達を受け入れる保育施設はほとんどなく、彼らは他の子ども達に混じって共に育ち合う機会が奪われています。「こども」「医療的ケア」が運営する「ちっちゃんこども園にじいろ」は、そんな医療的ケアが必要な子ども、健常児も、みんな一緒に過せる「共生保育」を実現している数少ない「こども園にじいろ」です。

すべてのこども達が受け入れられる社会へ

「にじいろ」の運営だけでなく、子育てを支援するイベントを開催したり、調査・研究事業として障がいや慢性疾患のこどもを持つ家庭の支援を行ったり、子育て支援イベントやセミナーなどの開催を行っています。「今、困っている方々を支えるだけでなく、将来的に共生保育が当たり前に認知される社会を実現するのが私達の目標です。そのためには共生保育の必要性を理解してもららるよう、説得力のある実証データが必要なのです。」行政にもまだまだ二つは理解されていないなか、ゆめまち基金の存在は、そんな大きな夢をかなえる力になるそうです。「サポート制度

ミッションと活動ビジョン

発言・提言 各種イベント 子育て支援 共生保育（ちっちゃんこども園にじいろ） 調査・研究

「調査・研究」をデータベースに、「共生保育」の必要性を社会に発信。

親子でアートを楽しむイベント、子育てセミナーなどの開催。

慢性疾患、障がいを持つ子どもと健常児を共に預かる保育園を運営。

大学の研究者と協同で、医療的ケアが必要とする家庭の支援ニーズを調査。

「こども園にじいろ」は家庭的で温かい保育を」というポリシーを大切にしています。

「こども園にじいろ」の運営だけでなく、子育てを支援するイベントを開催したり、調査・研究事業として障がいや慢性疾患のこどもを持つ家庭の支援を行ったり、子育て支援イベントやセミナーなどの開催を行っています。「今、困っている方々を支えるだけでなく、将来的に共生保育が当たり前に認知される社会を実現するのが私達の目標です。そのためには共生保育の必要性を理解してもららるよう、説得力のある実証データが必要なのです。」行政にもまだまだ二つは理解されていないなか、ゆめまち基金の存在は、そんな大きな夢をかなえる力になるそうです。「サポート制度

TEL 078-784-5333 URL <http://blog.canpan.info/kodomo/> Email info@niji-iro.info

病気や障がいを抱える子ども達と家族を支える保育園

特定非営利活動法人 こどもコミュニティケア

様々な状況にあるこども達と一緒に預かる「共生保育」を実施

看護師である代表が立ち上げた「こどもコミュニティケア」。同団体が運営する保育園「ちっちゃんこども園にじいろ」は、医療的ケアが必要なこども、障がいのあるこども、健常児が一緒に過ごす共生保育を実施しています。全国的に例の少ないこの取り組みへのニーズは高く、困難な状況にあるこども達の「育ちの場」として、高い支持を受けています。



「共生保育」が当たり前の社会を目指す

「こどもコミュニティケア」では、共生保育の必要性を社会に発信していくため、障がいや慢性疾患のこどもを持つ家庭の支援ニーズをリサーチする調査・研究事業も行っています。すべてのこども達が参加できる社会を目指し、これからも活動は続きます。

◆朝日放送ラジオ◆

「磯部・柴田の日曜のびのび大放送」内のコーナー

「イソベっちの、前へ前へポッポー！」<生放送>

昨年度のCB/CSO アワード大賞受賞をうけて、2012年10月28日(日)お昼頃に、7分間、

団体の取り組みや社会的意義について、代表理事のインタビューが生放送にて、放送されました。

パーソナリティのおふたりと、座右の銘
「変えるべき変えられるものを見る勇気を
変えられないものを受け入れる平穏を
その2つを見分ける知恵を」とともに。



◆神戸ユニバーサルライフ情報誌「びと」に掲載◆

障がいのあるかたが、自ら町を取材し、コミュニティ情報を載せている情報誌「びと」に、「ちっちゃなこども園にじいろ」の取り組みが紹介されました。

ハーブクラブ便り

「しあ風希望のガーデン」
(NPO法人ウイズアス)

※4/7(日)神戸市立相楽園にて「相楽市」に店舗開設します。

元気発信

『ちっちゃなこども園にじいろ』
「大きな家族のような小さな保育園」

【問】神戸市垂水区舞多聞東2-6-9-1F TEL:078-784-5333 HP:<http://niji-iro.info/>

神戸ユニバーサルライフ情報紙『びと』の活動をご支援ください!

購読会員・個人・法人協賛の募集!!

■購読会員 3,000円/年
神戸ユニバーサルライフ情報紙『びと』の郵送 5部

■個人協賛 5,000円/年
神戸ユニバーサルライフ情報紙『びと』の郵送 10部
(ご住所に記載していただけたら嬉しいです。)

■法人協賛 10,000円/年
神戸ユニバーサルライフ情報紙『びと』の郵送 100部

■個人・法人協賛つきましては、『びと』の協賛の欄にお名前の書きをさせていただきます。

下記の連絡先でお問い合わせいただけます。購読会員・個人会員・法人会員のどれかを選択していただき、下記の必要事項を明記して、電話・FAX・メール、郵送で受け付けております。

皆様の協賛をお待ちしております。

●法人協賛の場合 ▶会社名、住所、電話番号、担当者
●個人会員の場合 ▶お名前、住所、電話番号

TEL/FAX:078-381-6470
E-MAIL:info@wing-kobe.org
〒650-0042 神戸市中央区波止場町5-6 中央提中央ビル2F
<http://wing-kobe.org>

2012年度 収支決算 (2012年7月1日～2013年6月30日)

2012年度 特定非営利活動に係る事業の会計 収支計算書

2012年07月01日～2013年06月30日

特定非営利活動法人こどもコミュニティケア

(円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
事業収入		
こども園収入	10,094,815	
保育ママ事業収入	3,607,780	
色あそび収入	215,500	
講演会・講座収入(子育て支援事業)	40,900	
物品販売収入	98,600	
コミュニティスペースの運営事業収入	600	
講義・助言・謝礼収入	41,200	
事業収入計		14,099,395
補助金等収入		
地方公共団体補助金収入	11,941,570	
国庫補助金収入	300,000	
補助金等収入計		12,241,570
寄付金収入		
寄付金収入	1,307,884	
寄付金収入計		1,307,884
雑収入		
受取利息	454	
雑収入	76,206	
雑収入計		76,660
経常収入合計		27,725,509
II 経常支出の部		
事業費		
こども園事業費	11,672,678	
保育ママ事業費	12,008,619	
色あそび支出	206,363	
講習会・講座支出(子育て支援事業)	27,666	
物品取扱費	101,246	
事業費計		24,016,572
管理費		
管理費計		1,948,339
経常支出合計		25,964,911
経常収支差額		1,760,598
III その他資金収入の部		
敷金・保証金戻り収入		
敷金戻り収入	24,000	
敷金・保証金戻り収入計		24,000
その他資金収入の部合計		24,000
IV その他資金支出の部		
固定資産取得支出		
出資金取得支出	12,000	
固定資産取得支出計		12,000
敷金・保証金支出		
敷金支出	24,000	
敷金・保証金支出計		24,000
借入金返済支出		
短期借入金返済支出	1,500,000	
借入金返済支出計		1,500,000
その他資金支出の部合計		1,536,000
その他収支差額		-1,512,000
当期収支差額		248,598
前期繰越収支差額		4,116,535
次期繰越収支差額		4,365,133

2012年度 特定非営利活動に係る事業の会計 収支計算書

2012年07月01日～2013年06月30日
特定非営利活動法人こどもコミュニティケア

(円)

科 目	金 額	
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
資産増加額		
当期収支差額	248,598	
敷金増加額	24,000	
出資金増加額	12,000	
資産増加額合計		284,598
負債減少額		
短期借入金返済額	1,500,000	
負債減少額合計		1,500,000
正味財産増加額計		1,784,598
VI 正味財産減少の部		
資産減少額		
当期収支差額	0	
建物減価償却額	502,957	
建物付属設備減価償却額	275,587	
構築物減価償却額	396,847	
什器備品減価償却額	207,826	
敷引き償却額	100,000	
敷金減少額	24,000	
資産減少額合計		1,507,217
正味財産減少額合計		1,507,217
当期正味財産増減額		277,381
前期繰越正味財産額		8,785,442
期末正味財産合計額		9,062,823

2012年度 収支計算書(部門別) 2012年07月01日から2013年06月30日(決算)まで
特定非営利活動法人こどもコミュニケーションティケア 特定非営利活動に係る事業の会計

(資金収支の部)		科目名	合計	管理	こども園	保育ママ	色あそび	物品販売	講演会(子育て)	部門なし
I 経常収入の部										
事業収入		こども園収入	10,094,815	0	10,094,815	0	0	0	0	0
		保育ママ事業収入	3,607,780	0	0	3,607,780	0	0	0	0
		色あそび収入	215,500	0	0	0	0	0	0	0
		講演会・講座収入(子育て支援事業)	40,900	0	0	0	0	0	0	0
		コミュニケーションベースの運営事業収入	600	600	0	0	0	0	40,900	0
		講義・助産・謝礼収入	41,200	20,000	5,600	15,600	0	0	0	0
		物品販売収入	98,600	0	0	0	98,600	0	0	0
		事業収入合計	14,099,395	20,600	10,100,415	3,623,380	215,500	98,600	40,900	0
		補助金等収入	11,941,570	0	0	11,941,570	0	0	0	0
		地方公共団体補助金収入	300,000	0	300,000	0	0	0	0	0
		国庫補助金収入	12,241,570	0	300,000	11,941,570	0	0	0	0
		補助金等収入合計	1,307,884	682,269	625,615	0	0	0	0	0
		寄付金収入	1,307,884	682,269	625,615	0	0	0	0	0
		寄付金収入合計	1,307,884	682,269	625,615	0	0	0	0	0
		維収入	454	454	0	0	0	0	0	0
		受取利息	76,206	76,206	0	0	0	0	0	0
		維収入	76,660	76,660	0	0	0	0	0	0
		維収入合計	27,725,509	779,529	11,026,030	15,564,950	215,500	98,600	40,900	0
II 経常支出の部										
事業費		こども園事業費	11,672,678	0	11,672,678	0	0	0	0	0
		保育ママ事業費	12,008,619	0	12,008,619	0	0	0	0	0
		色あそび支出	206,363	0	0	206,363	0	0	0	0
		講演会・講座支出(子育て支援事業)	27,666	0	0	0	0	27,666	0	0
		物品取扱費	101,246	0	0	0	101,246	0	0	0
		事業費合計	24,016,572	0	11,672,678	12,008,619	206,363	101,246	27,666	0
		管理費	1,948,339	1,948,339	0	0	0	0	0	0
		管理費合計	1,948,339	1,948,339	0	0	0	0	0	0
		経常支出合計	25,964,911	1,948,339	11,672,678	12,008,619	206,363	101,246	27,666	0
		経常収支差額	1,760,598	-1,168,810	-646,648	3,556,331	9,137	-2,646	13,234	0

2012年度 貸借対照表 (2013年6月30日現在)

特定非営利活動法人こどもコミュニティケア 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
レジ	782, 614	未払金	2, 288, 293
普通預金	6, 137, 854	前受金	3, 341, 550
ゆうちょ振替口座	118, 642	預り金	54, 891
商品	54, 485	短期借入金	3, 500, 000
書籍在庫	1, 837	流動負債合計	9, 184, 734
未収金	2, 708, 570	固定負債	
前払金	245, 865	長期借入金	4, 900, 000
流動資産合計	10, 049, 867	固定負債合計	4, 900, 000
固定資産		負債合計	14, 084, 734
建物	8, 670, 544	正味財産の部	
建物付属設備	1, 344, 681	前期繰越正味財産	8, 785, 442
構築物	1, 895, 389	当期正味財産増減	277, 381
什器備品	437, 076	正味財産合計	9, 062, 823
敷引き	50, 000		
敷金	623, 000		
出資金	77, 000		
固定資産合計	13, 097, 690		
資産合計	23, 147, 557	負債及び正味財産合計	23, 147, 557

特定非営利活動法人こどもコミュニティケア

代表理事 末永美紀子 殿

平成 24 年度 (2012 年度) 監査報告書

私どもは、平成 24 年度監事として、貴法人の平成 24 年 7 月 1 日から平成 25 年 6 月 30 日までの理事の業務執行の状況および財産の状況について監査を行いました。

結果を下記のとおり、報告します。

監査意見

- ・ 業務、会計共に適切に行われていた。
- ・ 現金過不足（不足）があったが、再発防止の対策がきちんと行われていた。

平成 25 年 7 月 20 日

監事 深井由起 

監事 

2012年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2013年6月30日現在

特定非営利活動法人こどもコミュニティケア

(円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
レジ		782,614		
普通預金		6,137,854		
ゆうちょ振替口座		118,642		
商品		54,485		
書籍在庫		1,837		
未収金		2,708,570		
前払金		245,865		
流動資産合計		10,049,867		
固定資産				
建物		8,670,544		
建物付属設備		1,344,681		
構築物		1,895,389		
什器備品		437,076		
敷引き		50,000		
敷金		623,000		
出資金		77,000		
固定資産合計		13,097,690		
資産合計				23,147,557
負債の部				
流動負債				
未払金		2,288,293		
前受金		3,341,550		
預り金		54,891		
短期借入金		3,500,000		
流動負債合計		9,184,734		
固定負債				
長期借入金		4,900,000		
固定負債合計		4,900,000		
負債合計				14,084,734
正味財産合計				9,062,823

2012年度 財産目録
科目ごとの内訳

商品		未払金	
ヴェレダ商品	15,045	給与@6月分	1,119,858
子ども用ぞうり	11,160	@6月分賞与	509,266
子ども用帽子	28,280	預り社会保険料 @5月分	157,266
計	54,485	預り社会保険料 @6月分	200,333
		預り社会保険料 @6月分賞与	96,897
書籍在庫		労働保険料(不足分)	104,877
書籍在庫	1,837	シルバー人材センター	51,796
		あゆみ会(保育ママ) (3ヶ月分)	48,000
未収金		計	2,288,293
神戸市家賃補助 (4~6月分)	267,000	前受金	
神戸市運営費補助 (4~6月分)	2,441,570	神戸市家賃補助 (4~6月分)	267,000
計	2,708,570	神戸市運営費補助 (4~6月分)	2,468,700
前払金		7月分保育料@こども園	209,800
家賃7月分	200,000	7月分保育料@保育ママ	396,050
駐車場代7月分	34,000	計	3,341,550
リコープリンタ年間保守 (残り3ヶ月分)	11,865	預り金	
計	245,865	源泉所得税@給与 (6月給与+6月賞与-2012年度年末調整超過額)	7,140
敷金		源泉所得税@謝金 (6月分)	4,548
2008年度		雇用保険料(4~6月分)	18,203
家賃	500,000	住民税(5~6月分)	25,000
駐車場 × 3	99,000	計	54,891
2013年度		短期借入金	
駐車場 × 1	24,000	2008年度借入金	6,500,000
計	623,000	2009年度借入金	-1,500,000
出資金(都市生活)		2010年度借入金	300,000
2008年度	30,000	2011年度借入金	-300,000
2009年度	11,000	2012年度借入金	-1,500,000
2010年度	12,000	計	3,500,000
2011年度	12,000	長期借入金	
2012年度	12,000	2008年度借入金	2,700,000
計	77,000	2011年度借入金	2,200,000
		計	4,900,000